

回収ボックスを市社協の担当者に手渡す小林さん(右から2人目)ら
＝浜松市中区の静岡文化芸術大



静岡文化芸術大 1、2年生

静岡文化芸術大(浜松市中区)のボランティアサークルが25日、同大の学生から募った余剰食料品を同市社会福祉協議会に寄付した。NPO法人フードバンクふじのくにが主催するフードドライブ(食料寄付運動)に賛同する同市社協が、同大に協力を呼び掛けた。同NPO法人によると、学生の協力は珍しいという。

食料寄付運動に協力

提供呼び掛け、構内に回収箱

支援活動に協力したのは、発展途上国で住宅建築支援に取り組むサークル「ハビタット・フォー・ヒューマニティ・アジア」。メンバーの1、2年生13人が講義の場やメールで全学生に家庭に眠っている食料品の提供を呼び掛け、構内に回収ボックスを設置した。

25日は同市社協の職員が同大を訪れ、メンバーから菓子などが入った回収ボックスを受け取った。同NPO法人を通じて浜松市内などの支援を必要とする人に届けられる。

サークル代表の文化政策学部2年、小林杏里紗さん(20)は「不安はあったけど食料品が集まってよかった。助かる人が一人でもいたらうれしい」と話した。同様の活動は浜松市立高でも実施される予定。

(浜松総局・鈴木侑季)